

浮魚情報（第7報）

令和6年9月12日
宮城県水産技術総合センター環境資源チーム
Tel : 0225-24-0139 Fax : 0225-97-3444

カタクチシラス分布調査結果

○調査方法

- ・9月12日に県漁業調査指導船「開洋」にて、県仙南海域の共同漁業権内においてシラス分布調査を行いました。
- ・調査方法は、魚群探知機によりシラスやイワシ類と思われる反応を調べ、魚種確認のため、中層トロール網（10分曳き）による捕獲調査と漁場環境調査を行いました。

○魚群探知機航走調査結果

- ・St.2～St.3の岩沼沖の表層付近では、高頻度でやや濃い目の反応が見られました（図1）。

○中層トロール網による魚種の確認結果

- ・図1に示す山元沖T1及びT2、名取沖T3において中層トロール網を10分曳網した結果、T2では61尾、T3では229尾採取されました。T1は皆無でした。（表1）。漁獲物の体長はT2で8～26mm（平均18mm）、T3で17～33mm（平均27mm）でした（図3）。また、T2では25mm以下が主体で、T3は27mm前後が主体でした（図2）。カタクチシラスのCPUE（尾/網）はT3で昨年を上回っていましたが、T1とT2では昨年を大きく下回りました（図3）。

○漁場環境等

- ・調査海域の表層水温は26.9～27.3℃、底層付近は21.5～25.0℃となっていました（表2）。
- ・調査漁場の底層付近はSt.1およびSt.2で水産用水基準（6mg/L）を下回り、低酸素状態となっていました。

表1 各調査点の漁獲尾数

| 中層トロール調査点 | カタクチシラス尾数 | マシラス尾数 | 備考 |
|-----------|-----------|--------|-----------|
| T1 | 0 | 0 | 皆無。 |
| T2 | 61 | 0 | 25mm以下が主体 |
| T3 | 229 | 0 | 27mm前後が主体 |

表2 調査漁場の環境調査結果

| St | 時間 | 測定層 | 水温 | 塩分 | pH | DO | |
|------|-------|------|------|------|------|--------|-----|
| | 水深(m) | (m) | (℃) | | | (mg/L) | |
| St.1 | 10:09 | 0 | 26.9 | 30.9 | 8.3 | 7.4 | |
| | | 10.2 | 5 | 25.4 | 32.6 | 8.2 | 6.7 |
| | | B-1 | 24.1 | 33.2 | 8.1 | 5.2 | |
| St.2 | 11:03 | 0 | 27.1 | 30.6 | 8.3 | 7.4 | |
| | | 22.5 | 5 | 26.2 | 32.1 | 8.2 | 6.9 |
| | | | 10 | 25.0 | 33.5 | 8.2 | 7.3 |
| | | | 15 | 24.3 | 33.6 | 8.2 | 7.5 |
| | | | 20 | 22.4 | 33.7 | 8.2 | 6.8 |
| | | | B-1 | 21.5 | 33.7 | 7.9 | 3.7 |
| St.3 | 11:49 | 0 | 27.3 | 28.3 | 8.4 | 10.3 | |
| | | 10.0 | 5 | 25.8 | 32.6 | 8.3 | 7.5 |
| | | B-1 | 25.0 | 33.1 | 8.2 | 6.4 | |

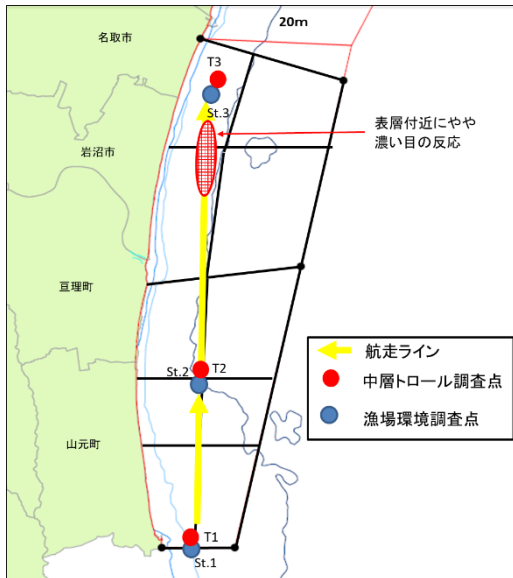


図1 航走ラインと中層トロール調査点

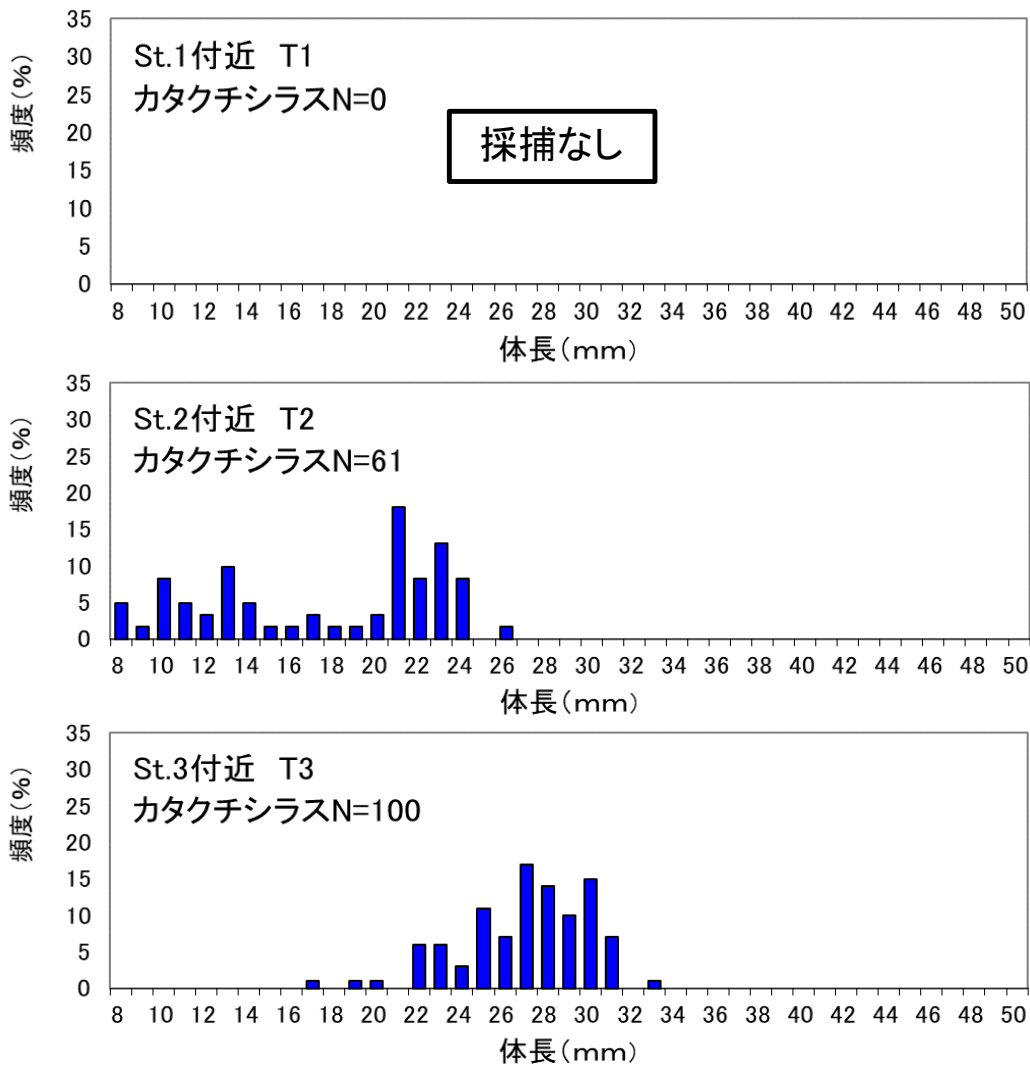


図2 中層トロールで採捕されたカタクチイワシ仔魚の体長組成

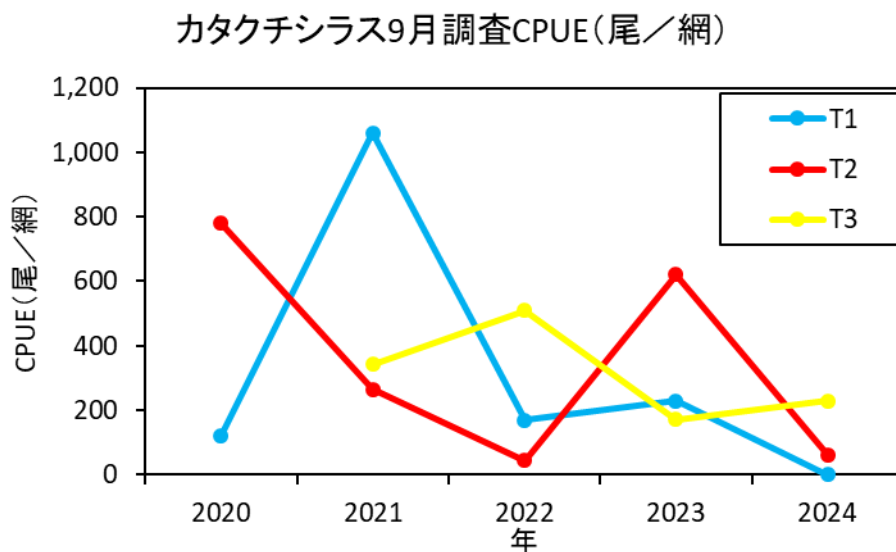
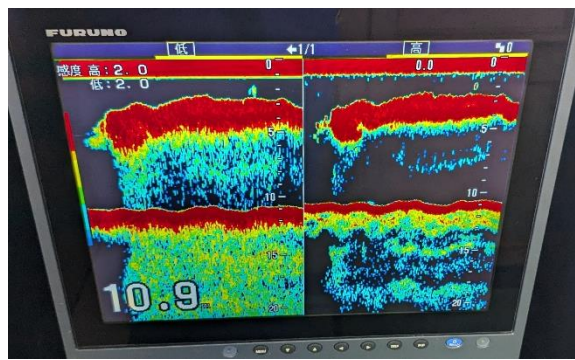
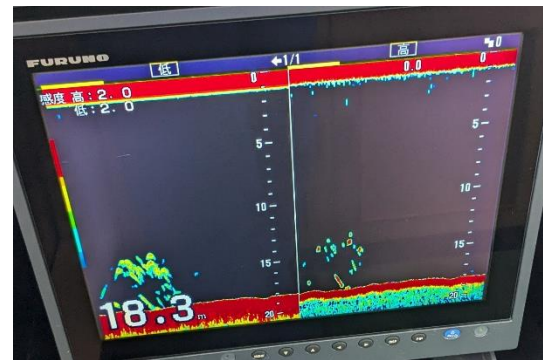


図3 中層トロール (10分曳網) で採捕されたカタクチシラスの CPUE (尾・網) の変化。

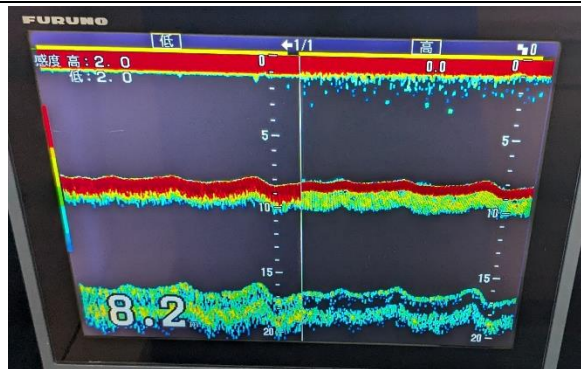
図4 魚探及び漁獲物写真



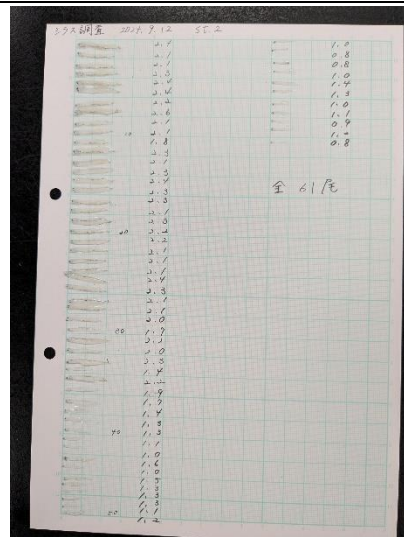
T1 魚探反応（右側の高周波参照）
 濃い反応が見られたが、中層トロール採捕できないサイズのいわし類と考えられる。
 ※ナブラが出来ていた。



T2 魚探反応（右側の高周波参照）
 底層付近に反応あり。



T3 魚探反応（右側の高周波参照）
 表層付近にカタクチシラスと思われる反応あり。



T2 の漁獲物測定写真



T3 の漁獲物測定写真